

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム寿生の家

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）
 デイサービス

日時： R7年 9月 25日 15:00～16:00

場所： 寿生苑 会議室

出席者
 （人数）

利用者代表	0人	有識者	0人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援 センター職員	0人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他（事務長、事務次長、管理者、介護 リーダー2名）			5人

1、利用者様状況報告（9月24日現在）

利用者数：桜棟9名 梅棟9名（男性1名 女性17名）

介護度分布：桜棟 要介護1：4名 2：4名 3：1名 4：0名 5：0名
 梅棟 要介護1：4名 2：4名 3：1名 4：0名 5：0名

平均介護度：桜棟 1.7 梅棟 1.7 全体平均 1.7

平均年齢：桜棟90.6歳 梅棟91.2歳 全体90.9歳（最高齢105歳 最年少84歳）

待機者：23名

入退所：7月1名退所、8月1名退所 8月2名入所あり

在所期間：2ヶ月目～18年11ヶ月目

2、行事・活動について

8月30日 花火大会

夕食後、例年通り、暗くなるのを待って開催した。今年は花火の値上がりがあり、予定していた予算でとても厳しくて、少しオーバーしたが、「久しぶりだわ」とか「初めて！」と言われる方もあり、喜んでいただけて良かったと思っている。

9月15日 敬老会

・今年は昼食を一般の外部業者に発注した。いろいろなものが少しずつ、品数多く入っているお弁当だったが、それに吸い物、シャインマスカットとイチジクのデザート、施設で漬けた奈良漬けを付けた。食材を細かく刻む必要のある方はいつもの食事にプラスして提供した。皆様とても喜んでくださり、普段以上に召し上がられた。

・午後はデイサービスへボランティアさんが来られ、変面・手品・人形劇（ヤマタノオロチなど）・踊り（マツケンサンバなど）、南京玉すだれを披露してくださったので、一緒に鑑賞させていただいた。

・紅白饅頭でお茶会をし、百寿、米寿の方のお祝いをした。

予定

10月29日・31日 遠足（花の郷）

ご家族にも案内をして、一緒に行ける方は現地集合していただく。お元気な方は外食をしてから帰っても良いのではと考えている。

11月 秋祭り

詳細は未定

展示について

寿生病院の玄関ホールに利用者様の作品展示を行うことになり、7月より開始している。7月は靴下端切れの「七福神」、9月は同じく靴下端切れの「かかし」を展

示している。普段関わることのない職種の方からも「すごいね～」と声を掛けてもらうことも多くなった。日頃の地道な活動の発表の場ができて良かったと思う。利用者様は受診の際に見ていただいている。

通常の活動 普段の家事作業、壁画づくりとして折り紙、切り紙、貼り絵など、塗り絵、おやつ作り、風船バレー、歌、料理、散歩、病院から依頼を受けたハンドロール作り、スカットボールなど。

体操はラジオ体操や棒体操、嚥下体操、そして寿生苑のリハビリ専門職の方から指導された個別の機能訓練なども継続して行っている。2月に入所された方は、“毎日体操をしているから転ばなくなった。”ご家族も“元気になった”と話されていた。

3、学生実習受け入れについて

9月と10月に出雲医療看護専門学校の学生の実習の受け入れを行っている。9月は18.19日に4名の学生を受け入れた。1年生のためほぼ見学実習となる。利用者様とのコミュニケーションやグループホームとはどういう施設か、職員はどのように対応をしているか、などが主な目的となる。最初は緊張していた学生さんも終わってみたら「楽しかった」という感想だった。認知症があってもできることはたくさんある、グループホームでは楽しく穏やかに暮らせる、など感じてもらえた。

4、防災BCPについて

- ・9月18日に防災訓練（夜間想定火災避難訓練・消火訓練）を行った。夜間、休憩室から出火したという想定で夜勤者2人が初期消火から避難を行った。自動通報装置で連絡を受けた人が応援に来るという想定で4名の応援者がある。夜間なので危険のないように外へ出なければならぬので、各棟でまとまって、夜間反射帯を付けてから避難する。利用者様も大きな混乱もなく梅棟は11分、桜棟は15分で避難できた。

- ・桜棟のホールの戸の鍵が開かないことに気づいた。普段、開け閉めしない所なので、訓練を機会に確認ができたので、早急に対応したい。

- ・実習に来ていた出雲医療看護専門学校の学生4名は避難訓練見学、消火訓練には全員参加した。学生や指導の先生からはとても良い経験ができた、と喜ばれた。

- ・9月22日に災害時の食事提供訓練を行った。11時に急な断水が発生した状態で昼食を提供す

るという訓練で備蓄の災害食と水、冷蔵庫の中の物などでいかに水を使用せずに食事を提供するかという訓練をした。湯せんのできるカレーライス、ほうれん草の和え物、バナナ、みそ汁というメニューで備蓄の水をそれぞれ4L使用して提供できた。洗い物をしなくても良いように容器は使い捨て弁当箱や紙コップ、しゃもじや包丁にはラップを巻いて使用した。ほうれん草の和え物はレンジで作った。みそ汁はフリーズドライの物を使用。洗い物も極力減らし、湯せんしたお湯で消毒するような感じで使用した。

利用者様は特に問題なく食べられた方がほとんどだったが、ルーをかけると食べられない方もあったので、別盛りにした。別盛りにしてもあまり食べられない方が2名あったので、こういう場面があれば、その方々は別の魚の煮つけとか肉じゃがなどメニューを変えて対応する必要があると感じた。

職員も同様のメニューやエビピラフの災害食を試食した。カレーは普通においしく食べることが出来た。ピラフは事前にアルファ米と調味料を混ぜてからお湯を入れるがしっかり混ぜないと味に偏りがあった。量的にはしっかりあった。

今後もローリングストックとして定期的にいろいろな場面を想定して行っていきたい。また、こういう訓練を通して備蓄の量なども検討していきたいと思う。

5、感染対策等について

- ・感染の情報をあちこちで聞くが、利用者様に発熱や風邪症状などは見られず、問題なく生活されている。

・面会は症状のない方は「居室にて 30 分」を継続している。面会の可能人数は 2 人と変わらない。

・利用者様の外出希望もできるだけ対応している。

職員・引き続き基本的な感染対策は継続している。休憩や食事も個別で摂っている。

・常時体調チェックして、体調に異変があれば無理に出勤しないようにしている。

・家族がコロナに感染しても職員本人が症状がなく、元気で、抗原検査陰性であればしっかり対策をとって出勤している。

6、次回運営推進会議

今回は 11 月 27 日（木）デイサービスと合同の会議となる。会場などは後日ご案内したいと思う。

7、意見交換

<地>いろいろ難しい状況もあり、大変だと思うが頑張ってもらいたい。

<市>防災の訓練について細かい想定をして訓練されていると感じた。危機管理が出来ているのだと思う。普段の行事についても日々大変だと思うが活発に行われていると思う。

<管>今回は夜間の火災想定での避難訓練と断水での食事提供訓練としたが、以前、災害時を想定しての避難訓練として、必要な物品を準備して避難するというところを行った。入れ歯や薬、記録類を準備したり、個々のおむつ類や飲み物などをリュックに入れたりした。また、そういう災害時避難訓練を行っていきたいと思っている。

<事>感染対策ではあると思うが、休憩を個別でとっているとのことだが、休めているのか、と心配している。また、今回は断水の設定で食事提供の訓練をされたが、停電の場合、寿生の家は自家発電がないので、その対策も考えていかないといけない。

<管>停電は辛いと思う。以前、停電での食事提供訓練を行ったことがある。今後、また考えていきたい。

<家 1>いつもとても良くしてもらっている。職員さんにも要望やお願いに細かく対応してもらって情報の共有が出来ているので、感謝している。行事がたくさんあるが、それがあると母との話題になって話が出来るので、嬉しい。今後もよろしくお願ひしたい。

<管>いろいろご家族にも協力いただき、感謝している。

<家 2>行事や活動など職員の方が良く考えておられる。家ではできないことも多いので本当に喜んでいる。また、面会時には職員さんが現在の状況を知らせてくれるので、良く分かる。今回の耳の異常も早く気付いて連絡をもらったので、早く受診できて本当に良かった。また、家に居る時は嫌なことも言われたが、母も優しくなった。自分にも余裕が出来て声掛けも優しくできる。

<管>そういうコメントを聴くと嬉しく思う。どうしても入所に関して「施設に入れた」ということを後ろめたく思っておられる方もあるが、私達は自宅での認知症介護の大変な部分を担って、ご家族とご本人の距離を取ってもらって、関係を再構築できれば良いという気持ちがある。入所後も面会や外出なども行ってもらってまた楽しい時間を過ごしてほしいと思っている。

<次>現場職員は頑張ってくれていると思う。温かい言葉をもらえて嬉しく思う。介護保険の改定などがあると、研修などやらなければならないことが増えて大変だが、これに関しても頑張って対応してくれていると思う。

<管>9 月は防災月間というつもりで非常食提供訓練を行ったが、ここに防災食のエビピラフや魚の煮つけ、肉じゃがなどがあるので、試食してみてもらおうと良いと思って持参している。作り方や味など体験してみてもいいと思う。

<家 2>以前、子供食堂などを運営されている所にお米を寄贈したことがある。そういう困った人の少しでも助けになれば良いと思っている。

<管>その気持ちが素晴らしいと思う。

皆様のご意見を参考にして今後も頑張っていきたいと思う。

今回はデイと合同で開催予定としている。またご案内したいと思う。

以上